



4月5日から業務を開始する新社屋

ZEB実現に挑む 新社屋完成式典を挙

藤崎建設工業



藤崎代表取締役
社長

藤崎建設工業(行方市新宮745、藤崎政行代表取締役社長)は28日、本社新社屋完成式典を執り行った。設計や施工に携わった関係者など約80人が参加。最新の環境技術を各種取り入れZEBの実現に挑む新社屋は4月5日から業務を開始する。

開会にあたり藤崎社長は「新社屋はこれまでの3倍の広さ。働きやすい環境を整え、作業効率を上げるよう考慮した。気持を新たに社員一同、より一層努力を重ねて業務に励む所存です」とあいさつ。



藤崎代表取締役
社長



藤崎代表取締役
社長



藤崎代表取締役
社長

環境を整え、作業効率を上げるよう考慮した。気持を新たに社員一同、より一層努力を重ねて業務に励む所存です」とあいさつ。

続いて、「OFFICE」と題し、建設までの経緯やZEB(建物の運用段階でのエネルギー消費量を、省エネや再生可能エネルギーの利用などを通して、ゼロにする)を実現するための取り組みを説明。藤崎社長は「ZEBだけに、新しい建築にも挑戦する」と決意を表明。活力を与え、お客様や地元と連携し、新しいプロジェクトに力を与える。NTTファーストビルディングの高松支店長は「新社屋が、先進的な次のステップへと進む第一歩に



導入した新技術などを説明

謝状贈呈後、アーネスト・スチュワートのヘッド、祝辞を述べた。

来賓を代表し、常陽銀行の伊藤克彦常務取締役は「藤崎社長の情熱と推進力によって、ZEBという最先端に取り組み、新社屋が完成した。当行は、地域の銀行として、本部支店が一体となり、フットワーク軽くスピード感を持ってごにあたりたい」とあいさつした。

新社屋はS造3階建て、延べ651・38㎡。LowEペアガラスや日射遮蔽型電動ブラインド、井水熱利用ヒートポンプ式空調、LED照明・照明制御などのZEBシステムを導入して